

地方創生交付金事業 K P I 一覧

資料 1

【地方創生拠点整備交付金】 スポーツ合宿拠点整備事業	事業開始前	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		KPI増加分
	(現状値)	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	の累計
K P I ① 片岡トレーニングセンター使用料（円）	930,000.0	0.0	15,250.0	100,000.0	228,000.0	100,000.0	-131,050.0	100,000.0	-306,150.0	100,000.0	88,080.0	-105,870.0
K P I ② スポーツ交流人口（千人）	140.0	0.0	9.5	20.0	21.0	20.0	47.2	15.0	-116.0	15.0	13.7	-24.6
K P I ③ 年間宿泊者数（百人）	485.0	0.0	379.0	5.0	-3.2	5.0	57.2	5.0	-205.0	5.0	56.4	284.4

農林業振興拠点整備事業	事業開始前	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		KPI増加分
	(現状値)	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	の累計
K P I ① 「農産物直売所旬鮮やいた」の年間売り上げ（千円）	384,244.0	0.0	-66.0	5,000.0	32,979.0	5,000.0	78,573.0	4,000.0	45,965.0	4,000.0	72,634.0	230,085.0
K P I ② 「道の駅やいた」関連施設利用者数（千人）	1,111.0	0.0	-14.0	25.0	63.0	25.0	121.0	20.0	-46.0	20.0	132.0	256.0
K P I ③ やいたブランド件数（件）	73.0	0.0	12.0	10.0	9.0	12.0	12.0	5.0	-8.0	5.0	0.0	25.0

未来体育館での健康・地域活性化事業	事業開始前	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		KPI増加分
	(現状値)	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	の累計
K P I ① スポーツツーリズムによる経済波及効果（万円）	140,168.0	0.0	0.0	0.0		0.0		40,000.0		32,332.0		0.0
K P I ② スポーツ合宿誘致件数（件）	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0		50.0		50.0		0.0
K P I ③ 年間宿泊者数（百人）	918.2	0.0	0.0	0.0		0.0		50.0		50.0		0.0
K P I ④ 文化・スポーツ複合施設利用者数（人）	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0		30,000.0		10,000.0		0.0

【地方創生推進交付金】 ネットワークで健幸を推進する「connect with ハピネス」	事業開始前	令和2年度		令和3年度		令和4年度		KPI増加分
	(現状値)	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	の累計
K P I ① 定住補助金申請件数（累計）（件）	700.0	85.0	80.0	87.0	88.0	90.0		168.0
K P I ② 健康ポイント付与総数（累計）（千ポイント）	3,000.0	2,700.0	3,214.2	3,600.0	3,475.8	4,600.0		6,690.0
K P I ③ はつらつ館利用者数（人）	8,900.0	50.0	-5,841.0	100.0	1,831.0	200.0		-4,010.0
K P I ④ 市営バス利用者数（1日あたり）（人）	74.5	0.5	-14.7	1.0	4.2	1.5		-10.5

## 地方創生交付金効果検証シート（R3実績分）

事業名	スポーツ合宿拠点整備事業							
事業概要	<p>スポーツツーリズム推進の観点から、本施設をスポーツ合宿が受入れ可能な施設に改修し、新たなニーズを掘り起こし、様々な競技のスポーツ合宿誘致や既にスポーツ合宿を行っている団体にとっては滞在期間の長期化やリピーターに繋げていく。さらに、スポーツ合宿をきっかけとした当市への来訪を地域の好循環に繋げ、地域経済への波及効果を高めていく。</p>							
事業内容	<p>・多目的アリーナの内装改修により、これまでは受入れができなかった球技等の様々な競技に対応する。あわせて、レクリエーションプログラムの活用時にアリーナを二分して利用できるよう、ネットカーテンを設置する。</p> <p>・現状では、ロッカールームや更衣室のスペースが狭く、大人数の団体に対応できないため、2階の講習室を臨時の更衣室とできるよう可動式のパーティションを設置する等の内装改修を行う。</p> <p>・シャワールーム及び更衣室、トイレの一連の設備を改修する。シャワーの男女各一基増設、トイレの洋式化等を行う。</p>							
KPI①	片岡トレーニングセンター使用料（円）							
KPI②	スポーツ交流人口（千人）							
KPI③	年間宿泊者数（百人）							
	事業開始前 （現状値）	1年目 平成29年度	2年目 平成30年度	3年目 令和元年度	4年目 令和2年度	5年目 令和3年度	KPI増加分 の累計	
目標値（KPI①）	930,000.0	0.0	100,000.0	100,000.0	100,000.0	100,000.0	400,000.0	
目標値（KPI②）	140.0	0.0	20.0	20.0	15.0	15.0	70.0	
目標値（KPI③）	485.0	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0	20.0	
実績値（KPI①）		15,250.0	228,000.0	-131,050.0	-306,150.0	88,080.0	-105,870.0	
実績値（KPI②）		9.5	21.0	47.2	-116.0	13.7	-24.6	
実績値（KPI③）		379.0	-3.2	57.2	-205.0	56.4	284.4	
予算額(円)	95,840,000			実績額(円)	93,312,000			
施策の有効性	東京近郊かつ鉄道、高速道路の交通の便が良い地の利を生かした施設であることから、スポーツ合宿等スポーツツーリズムを推進するために最適と判断できる。民間宿泊施設の宿泊者のスポーツ活動の場として活用しており、新型コロナウイルス感染症という特殊要因を除けば施設整備の効果がいかに発揮されていると判断できる。							
達成できなかった理由	新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度の春合宿需要が消失した。以降、施設の貸出中止期間が長引いたことに加え、メインターゲットである学生の活動自粛に伴い合宿需要が低迷した。令和3年度はやや回復を見せたが、令和元年度、令和2年度の落ち込みが著しく、当初設定した目標値累計値を達成できなかった。							
今後の方針	新型コロナウイルス感染症の影響により、未だメインターゲットの学生の合宿需要が低迷しているが、ウィズコロナ、アフターコロナの新しい生活様式に則り安全を確保したうえで、利用者増を図っていく。矢板スポーツコミッションによる活動を中心に、首都圏学生の合宿誘致を推進していく。							

## 地方創生交付金効果検証シート（R3実績分）

事業名	農林業振興拠点整備事業							
事業概要	<p>「農産物直売所旬鮮やいた」は地元産の農産物、加工商品を中心に販売しており、農業・産業振興にも大きく寄与しているが、売り場面積の狭さが原因で商品の陳列が十分にできず、利用者の多い時間帯に品切れが発生する等、売り場環境がボトルネックになってしまっており、商品利用者の伸びに対して売り上げの伸びが鈍化しつつあるため、本交付金を活用して、農業振興・産業振興にかかる機能強化を行い、本市の情報発信や農業振興の拠点とする。</p>							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「つつじの郷交流館」の通路部分に外壁を設置し、「旬鮮やいた」の販売スペースを拡張し、農業振興の拠点として機能強化を図る。</li> <li>・「旬鮮やいた」の床に、耐傷性・メンテナンス性を高めるための床シート張り工事を行い、維持管理にかかるコストを低減する。</li> <li>・「旬鮮やいた」の手動ドアを自動ドアに改修し、利用動線を改善する。</li> <li>・現在平置き用の商品棚を二段に商品を陳列できる棚に切り替え、実質的な陳列スペースを広げるにより効率的な施設利用を図る。</li> </ul>							
KPI①	「農産物直売所旬鮮やいた」の年間売り上げ（千円）							
KPI②	「道の駅やいた」関連施設利用者数（千人）							
KPI③	やいたブランド件数（件）							
	事業開始前 （現状値）	1年目 平成29年度	2年目 平成30年度	3年目 令和元年度	4年目 令和2年度	5年目 令和3年度	KPI増加分 の累計	
目標値（KPI①）	384,244.0	0.0	5,000.0	5,000.0	4,000.0	4,000.0	18,000.0	
目標値（KPI②）	1,111.0	0.0	25.0	25.0	20.0	20.0	90.0	
目標値（KPI③）	73.0	5.0	10.0	12.0	5.0	5.0	37.0	
実績値（KPI①）		-66.0	32,979.0	78,573.0	45,965.0	72,634.0	230,085.0	
実績値（KPI②）		-14.0	63.0	121.0	-46.0	132.0	256.0	
実績値（KPI③）		12.0	9.0	12.0	-8.0	0.0	25.0	
予算額	54,040,000.-			実績額	52,185,600.-			
施策の有効性	地方創生交付金による改修事業を実施したことにより、施設の利便性向上及び売場面積の増加が図られ、年間売上が目標値を上回る結果となった。							
達成できなかった理由	やいたブランド件数においては、令和3年度の新規認定が4件、更新申請がなされなかった商品が4件のため、目標値を下回る件数となった。							
今後の方針	本事業により整備された施設を有効活用し、目標値を達成するため、更なる売り上げ額、利用者数及びやいたブランドの認証件数の増加を目指す。							

## 地方創生交付金効果検証シート（R3実績分）

事業名	未来体育館での健康・地域活性化事業						
事業概要	<p>スポーツ交流人口の更なる増加や、市民の健康づくりを進めるため、AI、5G通信を活用した未来技術を導入した文化スポーツ複合施設を中心市街地の「とちぎフットボールセンター」同一敷地内に整備する。</p> <p>未来技術を活用して文化活動の映像配信、スポーツ活動の行動分析、市民の健康診断及び保健指導のほか、スポーツ合宿の誘致等のスポーツツーリズムの展開を図り、地方創生の拠点施設としてまちづくりを推進していく。</p> <p>未来技術を活用した事業にて得られたビッグデータは民間に対して共同利用を図り、施設を中心としてSociety5.0の実現と発信を進める。</p>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「とちぎフットボールセンター」敷地内に、バスケットボールコート2面、うち1面は収納可能な観覧席を有する文化スポーツ複合施設を建設する。</li> <li>・施設内にはAI技術等の未来技術を導入し、映像データ、運動データ、健康づくりデータ、周遊・行動記録データ、障がい支援データ、災害関連データを取得、蓄積していく。</li> <li>・スポーツ・文化活動の映像配信、トレーニング環境の整備とスポーツドック事業、健康ステーション事業、地域・観光情報サービス事業、施設利用者への各種情報提供等の事業を実施し、市内外から人を呼び込み地域経済の活性化を図る。</li> </ul>						
KPI①	スポーツツーリズムによる経済波及効果（万円）						
KPI②	スポーツ合宿誘致件数（件）						
KPI③	年間宿泊者数（百人）						
KPI④	文化・スポーツ複合施設利用者数（人）						
	事業開始前 （現状値）	1年目 令和3年度	2年目 令和4年度	3年目 令和5年度	4年目 令和6年度	5年目 令和7年度	KPI増加分 の累計
目標値（KPI①）	140,168.0	0.0	0.0	0.0	40,000.0	32,332.0	72,332.0
目標値（KPI②）	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0
目標値（KPI③）	918.2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0
目標値（KPI④）	0.0	0.0	0.0	0.0	30,000.0	10,000.0	40,000.0
実績値（KPI①）	／	0.0					0.0
実績値（KPI②）	／	0.0					0.0
実績値（KPI③）	／	0.0					0.0
実績値（KPI④）	／	0.0					0.0
予算額(円)				実績額(円)			
施策の有効性	<p>中心市街地に位置する既存のサッカーフィールドに隣接して文化活動、スポーツ活動を並行して実施できる複合施設を整備し、最先端のデジタル技術を導入して様々な事業を展開することにより、単なる文化活動・スポーツ活動にとどまらず、市民の健康増進、スポーツツーリズムの推進拠点として市内外からの人の流れを作り、地域活性化を図ることができる。</p>						
達成できなかった理由	施設建設中であり実績なし。効果検証は令和6年度以降。						
今後の方針	<p>令和4年度、令和5年度の2か年をかけて拠点となる文化スポーツ複合施設を整備し、令和6年度当初の開業を目指す。</p> <p>単なる文化活動・スポーツ活動の場ではなく、未来技術を活用したスポーツDXの実現、市民の健康増進の拠点、来訪者のスポーツツーリズム推進の中核施設として多様な事業展開を図るほか、災害時の避難施設としての活用、地球温暖化対策（環境配慮）の実現の場等で利用していく。</p> <p>また、市のデジタル戦略の推進拠点として行政のDXを進め、Society5.0を体現していく。</p>						

## 地方創生交付金効果検証シート（R3実績分）

事業名	ネットワークで健幸を推進する「connect with ハピネス」				
事業概要	令和2年度における人口ビジョン推計値等を上回るペースで人口減少と少子高齢化が進んでいる。また核家族化や単身世帯、ひとり親家庭が増加し、地域のコミュニティの希薄化が進むことにより地域の共助機能が低下しており、それに伴い高齢者の送迎等の公共交通の必要性も高まっている。 今後のさらなる少子高齢化と人口減少に備え、市民および市を訪れた人の状況や目的に応じた相互の情報交換や助け合いの場・グループの形成、その担い手としての定住・交流人口の増加、誰もが運動できる環境や仕組みの構築による健康増進、公共交通体系の充実による都市部と農村部のネットワーク化を図ることにより、コンパクトなまちなかエリアで健康で幸せに過ごせる地域を形成する。				
事業内容	本事業では、市民の健康推進や子育て支援施策の充実、移動促進のためのネットワーク構築、まちづくりのプロモーション事業を行う。これらのデマンド交通を中心とした移動ネットワークによるコンパクトシティ化の促進や運動を中心とした施策により、人の流れを活発にし、若年層の定住を図っていく。 これらの施策を連続的に展開し、または組み合わせていくことにより、人々の活動を活性化し、まちの賑わいを取り戻すとともに、多様な人々の交流の中で多くの情報交換や助け合いの関係性を生んでいく。				
KPI①	定住補助金申請件数				
KPI②	健康ポイント付与総数（千ポイント）				
KPI③	はつらつ館利用者数				
KPI④	市営バス利用者数（1日あたり）				
	事業開始前 （現状値）	1年目 令和2年度	2年目 令和3年度	3年目 令和4年度	KPI増加分 の累計
目標値（KPI①）	700.0	85.0	87.0	90.0	262.0
目標値（KPI②）	3,000.0	2,700.0	3,600.0	4,500.0	10,800.0
目標値（KPI③）	8,900.0	50.0	100.0	200.0	350.0
目標値（KPI④）	74.5	0.5	1.0	1.5	3.0
実績値（KPI①）		80.0	88.0		168.0
実績値（KPI②）		3,214.2	3,475.8		6,690.0
実績値（KPI③）		-5,841.0	1,831.0		-4,010.0
実績値（KPI④）		-14.7	4.2		-10.5
予算額	117,971,200		実績額		115,217,293
施策の有効性	KPI①：市内外の転入・転居者に対し手厚い制度であり、人口流出防止策としても有効である。 KPI②：584人の参加者により、3,251千Pが市内利用可能な商品券と交換され市民の健康増進と地域経済に活性化に寄与した。 KPI③：高齢者のコミュニティや介護予防に繋がる。 KPI④：「交通弱者」の生活の足を確保するために必要な施策であり、市営バス利用者の約75%を占める高齢者の移動手段として有効である。				
達成できなかった理由	KPI①：申請件数は堅調に推移している。 KPI②：コロナ禍により令和2年度の参加者が減少したことで、継続参加者を含めた令和3年度のポイント付与対象人数が想定より少なくなったため。 KPI③：令和2年度の通算約3か月間の休館から令和3年度は通算約2か月間の休館に短縮できたことから、利用者数は大きく回復してきている。 KPI④：コロナ禍によりデマンド交通での相乗りへの抵抗感や低い認知度のため。				
今後の方針	KPI①：現在策定中の立地適正化計画の居住誘導施策との整合性を図りながら、より効果的な移住定住支援策として制度の見直しを行う予定。 KPI②：新型コロナウイルス感染症の影響により、ポイント対象事業の中止が見受けられた。感染対策と両立可能なウォーキングの推奨や、健診の受診勧奨などにより、健康増進を図っていく。 KPI③：感染予防対策を徹底し、利用人数などの制限を設けての利用となるが、各種イベントなどを実施し、利用者の増加を図る。 KPI④：令和3年10月から市街地を定期運行する中央部循環路線とデマンド交通を導入した。今まで公共交通を利用できなかった方へ利便性を周知する。				